

# 地域ネットワークニュース

～平成28年10月の勉強会のお知らせ & 9月の勉強会報告～

第225回 地域ネットワーク勉強会

**「親なき後」問題と成年後見制度**

～知的障害者の生活を支える社会福祉士後見人～

講師：稲嶺裕子 氏（社会福祉士）

【茨城県社会福祉士会事務局／

NPO法人スペース空 相談支援専門員】

10月28日(金)

午後1時30分～

午後3時30分

神栖市保健・福祉会館内  
参加費無料

障害のある方の介護や医療など、身の上の手続きは成人後もその親が行っていることが少なくありません。親自身が病気になったり、亡くなったたりした時に誰が子を支援してくれるのか、親が年を重ねるごとに不安は増します。

この「親なき後」に対応できる制度のひとつとして期待されるのが成年後見制度です。

成年後見制度は、知的障害や精神障害、認知症などにより判断能力が不十分な方の権利を法律面と生活面から支援する制度です。援助者として選ばれた後見人は、本人の利益を考えながら預貯金などの財産管理や福祉サービス利用・施設入所に関する契約、遺産相続、悪徳商法被害への対処などを本人に代わって行います。

今回の勉強会では、神栖市社協が今年4月に開設した「福祉後見サポートセンターかみす」設置検討委員であり、自身も多くの知的障害者の後見活動をしている社会福祉士、稲嶺裕子さんを講師に招きます。成年後見制度が知的障害者の生活をどのように支えているのか、事例を交えてわかりやすくお話いただきます。ご家族や支援者など周りの方が制度や後見人の役割、その活用を知ることは、将来、本人を守ることに繋がります。ぜひご参加下さい。



※当日は勉強会会場内に情報提供・紹介コーナーを設けています。福祉や医療に関する事業所のパンフレットやチラシ、研修会案内などありましたら是非ご持参下さい。ご参加頂く皆様からの情報をお待ちしています。

申込・問い合わせ先：神栖市社協 地域福祉推進センター 担当：三浦 電話 0299-93-0294



第224回 地域ネットワーク勉強会報告

平成28年9月27日開催

＜参加者36名＞

**障害児・者の地域生活支援を通じて感じたこと**

～障がい福祉サービス事業者の立場から～

講師：ミナト介護サービスはさき 所長 仲村宏美 氏

(障害者相談支援専門員、介護福祉士)

ミナト介護サービスは、福祉タクシー事業をきっかけに、ホームヘルプサービス、障害児・者計画相談支援事業、放課後等デイサービスなど、様々な利用者ニーズに応えるため、多くの福祉サービスを展開してきました。

「サービスを利用することで、利用者のホッととした表情を見ることができた時にこの仕事の醍醐味を感じることができ、日々の支援の原動力に繋がっています。」、「神栖市内や近隣市町村で就労支援事業所や放課後等デイサービス事業所が増えてきましたが、まだまだ支援が必要な方がたくさんいます。支援機関と連携を深めながら、障がいを抱えても地域で安心して生活できるようなムードを作っていきたいです」と、これまでの実践を踏まえて伝えて頂きました。